



目を輝かせ一日入学

脇元小学校では、この四月に入學する子どもたち十七人（男九人・女八人）の一日入學を行いました。子どもたちは目を輝かせ、元氣よくあいさつしていました。（関連記事四面）

子どもたちは、1年生になりきって先生のいうことをしんげんに聞いていました。

昭和56年 1月号

明るく住みよい村づくりのために

—新年のごあいさつ—



村長 白川 治三郎

昭和五十六年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年には多くの被災農家と約五億五千万円を超す農作物被害をもたらした冷害で、厳しい農業情勢下に追い打ちをかけられ、さらに漁業においてもは、漁港不漁が続くなかで、臨元漁港に係留中の漁船の沈没などと、暗い一年でありました。

冷害を克服

ことしもまた冷夏、不順天候の公算大。という予測が出ております。

このため、最も影響をうけやすい稲作を中心に健苗、施肥、水管理など、総合的な冷害防止技術の指導、強化をはかり、冷害を克服するとともに、漁港の修築、防波堤の整備につとめるなど、沿岸漁業の振興にも努力したいと考えております。

Ｂ＆Ｇ財団 市浦海洋センターの建設
市民の体育スポーツに対する

冷害克服に全力

る関心は、次第に高まりつつあるなかで、幸い、Ｂ＆Ｇ財団市浦海洋センターの設置が本決まりとなり、三月から体育館の建設にとりかかることになっております。

体育館の完成は、八月の予定ですが、規模は一千平方メートル、総工費約一億円（Ｂ＆Ｇ財団で負担）で、艦庫も建設されることになっており、完成後は、村民総ぐるみのスポーツ活動を推進するとともに海洋性スポーツの振興にも役立てることにしています。

二カ年継続事業でコミュニティセンターを建設
社会教育の振興と村民のコミュニティ意識の高揚をはかるため、中央公民館的な性格を持つコミュニティセンターを建設します。

規模は、一千四百七十平方メートル、総工費は約二億六千万円



議会議員 小倉 十三男

村発展のために総力を結集

希望にあふれる新春を迎えるにあたり、村議会を代表して皆様のご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

昨年一月三日、村民各位のご支援を得て再び村議会議員当選の栄誉に浴し、さらに二月二十九日の初議会では議

長

を予定しており、完成すれば文字通りコミュニティ活動推進の拠点として利用度の高い施設となります。

また、懸案の避難港誘致は、火力発電所を併設した工業港的性格の「港」として、本村地域海岸に建設されるよう、関係機関に働きかけるとともに、村独自でも調査、研究するなど積極的にとりこんでゆきたいと構想しております。

以上、新年にあつたての抱負をのべましたが、村民のみなさまの理解とご協力を唯一の力として、一步一步大切に踏み進めたいと思っております。

新しい年も、低成長のおおりの受け、財政的にも厳しい情勢にあると思われませんが、限られた村財政にあつては議会を担当するものとして村民の意思を反映させたい立場から常に連携をとりあひながら村民の信託に応え、慎重に審議等を施行し明るく住みよい村づくりをはかりたいと思っております。

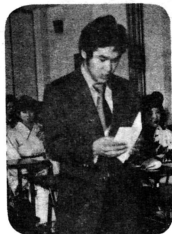
八十年代は「地方の時代」とはなほなくスタートしましたが、昨年のわが村は、水田利用再編対策による減反、大正二年以来といわれる冷夏による凶作、さらには漁業不振に加えて、漁船の沈没、大

破など、もつとも厳しい年でありました。しかし、村民皆様の村の発展を願う熱意と協力で、村道整備をはじめ畜産振興をはかるための公共育成牧場の着手、無線放送施設の整備など、各種事業が進められてまいりました。

また、本村の将来的な懸案事業の一つである避難港誘致については、市浦村の将来を展望する一大事業として位置づけ、村議会としても、第九回臨時議において避難港誘致促進特別委員会（工藤誠一郎委員長）を組織し、積極的にとりこんでいく所存であります。

村民各位の一層のご理解とご協力を願ひ申し上げます。

新成人おめでとう



成人式で謝辞をのべる
三和善之くん



出かせぎによる不在などで参加者は少なかったが、女性のはなやかな和服姿だけは、いつも変わらぬ風景でした。

華やかな中に緊張感

五十一人がおとなの仲間入り

新成の門出を祝福するかのよう、カラリと晴れあがった一月十五日、県内では二万二千九百十六人が新成人の仲間入りしました。

珍しく野空が広がった市浦村の成人式も一月十五日、基幹集落センターで行われ、二十歳になった若者たちの前途を祝福しました。

式典は、午前十一時から催され、対象者五十一人(男三十人、女二十一人)のうち、三千人が出席しました。式では、依谷佐之二教育長



成人の門出を祝福し、ジュースで乾杯。

が「二十歳という節目の重さを認識し、社会人として責任ある行動を」と体験をのべながら激励したあと、白川治三郎村長、青山又一村議会議員(議長代理)から「皆さんの若い力を地域発展のため出さしてほしい」とお祝いのことばがのべられ、新成人者は真剣な面持ちで耳をかたむけていました。

このあと、依谷教育長から記念品が手渡され、新成人を代表して三和善之君が「私たちに課せられた役割を若い情熱をこめて、たくましくあゆんでいきます」と謝辞をのべ、互いに祝福しあう会場は青春まつたが中の華やかさでいっぱいでした。

信頼される人間に

山上 裕 行
(相内)



きて行きたい。

どんなに悪い人でも、心の片隅良心があはらずです。ただ、それが理解していただけなかったり、信じてもらえないだけだと思うのです。

来賓多敷のお祝いを受けた成人式、私も一人の成人として大人の仲間入りしました。

二十歳。大人としての自覚をはっきり持つて生きていかなければならないと思う。私自身としては、人に信頼される人間になりたいし、そのための努力を人をして生

じて行きます。そして、素敵な女性にめぐりあえたいいなとも思っています。

責任ある行動を



新岡 真津子
(十一)

と感じるとともに、これまでの未熟さから脱皮し、強い意志と忍耐力のある社会人になりたいと思っています。

これまでの自分の行動を反省してみると、何事に対しても責任感に欠けており、社会人としての自覚がいたらなかったように思います。

人生の節目の一つである成人式を終えたいま、成人として

この頃です。力のあるはずかしくない人間にならなければ、と感じているこの頃です。

新教育長に 俵谷佐之氏



私はこのたび教育長を命ぜられ、過日着任した俵谷でございます。また、

もとの浅学非才、重要な教育行政担当には大きな不安を覚えるのでございますが、白川村長の施政方針の下、議会の決議に従い教育委員諸君と十分審議を重ね、更に事務局職員の協力を得て施策を進めたいと思っております。仕事の進め方としては、亡くなられた前斎藤教育長の方

斎藤教育長の死去に伴う新教育長に俵谷佐之さまが就任（二月八日付け）しました。俵谷教育長は、昭和十四年八月、臨応尋常高等小学校代用教員を振り出しに六郷中学校、五所川原市立藤川小学校、七和村立高野小学校、中里町立今小小学校等に勤務。昭和四十一年からは県教育委員会指導主事として西北教育事務所にて二年間勤務。その後、村立太田小、中里町立別小の各校長を歴任しました。

就任あいさつ

若人の育成にも努力

教育長

俵 谷 佐 之 一

針を縫ぎ、こつこつと実践していきなすのでございます。要するに県教育委員会の重点施策とする。1)学校教育の充実 (2)社会教育の振興 (3)体育スポーツの振興 (4)芸術文化の振興と文化財の保護

特に今年には、過乾説明会を開いたB&Gプランによる海洋センターが完成するので、ゆりかごから墓場までの生涯教育を中心とした進められることは大きな喜びであります。また、これによつて村の長期展望に立つた計画に参加できるはつとした若人の育成に努力したいと考えます。何分のご協力をお願いいたします。

アツ!!

ボクの机があつた

ワタシの机も

お母さんに付き添われた子どもたちは、受け付けで胸に名札をつけてもらい、永沢教頭先生と工藤先生に校内を案内していただきました。お兄ちゃん、お姉ちゃんの教室に案内された子どもたちは、「お兄ちゃん、お姉ちゃん!!」と声をかけるなど、

緊張な中にも和やかなひとまもありました。一年生の教室の机には名前が準備されており、胸をときめかして自分の席を探して着席すると、先輩一年生が歓迎の合奏。

先生の指導で絵を書いたり、歌をうたった。また、お母さん方には、竹内校長はじめ永沢教頭、工藤先生から、これから四月までの健康管理や学用品の準備、家庭内でのしつけについてのおねがいがあります。もうすぐ一年生、指折り教えて楽しみにしている子どもたちの健康管理には十分注意をし、交通事故には絶対おわせないようにしたいと思います。



早く学校へ来たいですか？元氣よく手をあげてハイ!!



先輩1年生が、楽器演奏で歓迎してくれました。



お兄ちゃん、まじめにやっているかな？

やっぱり 組合は解散できない

脇元出稼組合で総会



一時は解散まで……活発な意見の交換をした結果、「やっぱり組合は必要だ」とまとまりました。

脇元出稼組合(楯引岩蔵組合長)の総会は一月十日、脇元公民館で開かれ、組合員二十五人の顔が集まりました。開会冒頭、出稼組合の解散問題が大きくとりあげられ、楯引岩蔵組合長から、組合員の通年出かせぎにより、組合活動も停滞しており、出席者が少なく総会も開催できない状態である。何とかしなければならぬ、と思いつつ、

組合長自身が出かせぎをしなければならぬ、と、どうすればよいか困惑しているのが実態だ。いっそ組合を解散してはどうかという意見も出たが、出かせぎ者とそれとをどうやってかかっているのか、と思いつつ、

「せめて、二カ月ぐらいい休業しながら家族と通したいのだが、出かせぎ者の失業保険は特別一時金の五十日分だけです。休業したくてもできない状況で、通年出かせぎをくりかえしている、と、村の様子には全くわからない、家族のことも忘れがち。心まで離れてしまうようで恐ろしくなる。」雇用情勢が悪化すれば、ほとんど組合員が閉結しなければならぬ、組合の解散はさせたくない、

村に対しての要望は、「出かせぎ者、留守家族の援護活動を積極的に実施してほしい」「出かせぎ者の現地訪問をするなど、出かせぎ者の実態を知ってほしい」「出かせぎ者を対象に技能講習会等を開いてほしい」「県内・村内の様子を知らせる方法を講じてほしい」「出かせぎ組合への助成金を増額してほしい」などがありました。

村に対する要望、意見、出稼組合の必要性など活発な意見交換されたあと、宮川精一さんが新組合長として存続させていくことに決まりました。昭和五十六年度の活動計画として、①児童生徒の文集発行、②組合と出稼者との情報交換、③留守家族と出稼者との連絡、④労働災害の防止、⑤技能講習会への積極的参加、⑥傷害保険の加入促進、などを決めました。

■新役員は次のとおりです
 □組合宮川精一、□副組合長成田吉雄、川内敏春、□事務局長葛西茂紀、□理事、横山繁純、藤西哲、山田仁、石岡誠、山田洋逸、楯引洋逸、工藤理一、成田治、□監事斎藤正彦、村上浅太郎

たこ絵教室

それなりにできたよ



親子で楽しく

操作性の向上と親子のふれあいをねらいとした「親子たこ絵教室」が一月八日、基幹集落センターで開かれ、二十三人の親子が参加して、勇壮なたこ絵を仕上げました。「親子たこ絵教室」は、木造町たこ絵師、佐藤清吉さんを講師に午前九時から午後三時まで行われ、鉛筆で下絵を書きをしたあと、墨入れ、色付けまで指導を受けました。この教室は初めての試みであり、「うまく書けない。思

つたよりむずかしいよ」といっていた参加者も、色付けをしたアムには「それなりにできたよ」とホッと一息。親子合作で仕上げた「たこ絵」をながめて、ニンマリしていました。

教育委員会では、雪害ももりがある子どもたちのために、今後も教室を開いて、自分で作ったたこを大空へ上げる楽しみを味わってやりたいといっています。

津軽の先住民族



▶ 31 ◀

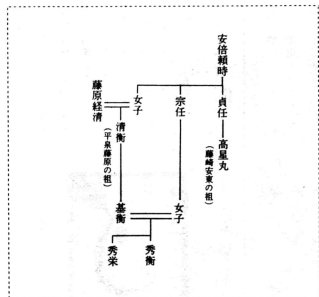
壇林寺について (2)

豊島勝蔵

秀栄の誕生

壇林寺に隠居した福島城主藤原秀栄については諸書まちまちですけれども、津軽前代系譜) によって述べてみましょう。

秀栄は、第七十三代堀河



天皇の永長元年(西紀一〇九六、二月十五日、岩井郡

平泉(現岩手県西磐井郡平泉町)のお城に呱呱の声をあげました。父を藤原基衡

といひ、母は鳥海三郎大夫安倍宗任の女です。兄は藤原三代の秀衡で平泉家を継ぎ、秀栄は二男で、その

弟になります。祖父基衡の母も安倍家の出身なので、平泉の藤原家と安倍家とは、切っても切れない血縁関係になるわけです。いづれも東北地方の名族です。

秀栄福島城主となる

前代系譜では、秀栄がすくなく成長したので、父基衡が津軽三郡を与えて、秀栄が津軽十三湊に君臨し、福島城主となったことになっています。平泉の藤原氏の勢力が、わが津軽三郡を与

えるだけの権限があったかどうかについては疑問であり、やはり津軽地方には、藤崎に安東氏、十三には、安倍氏という権力豪族がい

て、秀栄は間違いないく安倍氏に迎えられて養子となり、福島城主となったとみるのが妥当なようである。

秀栄統任される
第八十代高倉天皇の嘉応二年(西紀一一七〇)兄秀衡の薨逝によって、秀栄は従五位下左衛門尉に任ぜられ、さらに治承五年(西紀一一八一、養和と改元)従五位上陸奥守(兄秀衡は陸奥守、それに次ぐ兄は任ぜられました。兄弟の仲はともよかつたことがわかります。

秀栄壇林寺に隠居す
第八十二代安徳天皇の寿永元年(西紀一一八二)兄秀衡が髪を落して高麗と称し、子孫衛に家を譲り渡したに習って、秀栄も落髪して栄蓮(外三郡誌では「孫瑞」と称して壇林寺に隠居しました。

秀栄と義経伝説

文治三年(西紀一一八六)に源義経が、兄頼朝の勅命にあり、平泉の秀栄らに勧められていたが、頼朝の執意を断るに堪えられず、十三壇林寺に亡命し、後北海道に渡つたという伝説が遺されています。文治五年(西紀一一八九)頼朝の北伐によって、宗室平泉泰衡が滅亡しましたが、秀栄は事の不利なことを覚り、秀栄とともに援兵を出さず本領を安堵したということ

秀栄は、たいへん賢明な方で、遠慮があつたといわれています。そして、とても信仰の厚かつた人で、十三山王の仏間も秀栄の時代に完成したのと思われています。藤原姓を名乗つたので、藤崎の本家にもいつにもなまされてきたというこです。心の悩みを仏の御方にすがつていたものと思われま

建久四年(西紀一一九三)壇林寺において永祿にいます。行年九十八歳。

おの部

大きな大根やネ、大物必ずしも恐るに足らず。大風呂敷を広げる。勝大なことさ。大雷に凱歌など、雪の多い

年は農作だと信じられている。関仙氣舞。他人のことまで必要な心配をすること。遅れ三杯。妻席におくられた者への制裁。続けざまに無理に三杯酒を飲ませること。遅い者加でない。里沙門の神楽。時間助行のいまいしめ。津

遅れるのを普通とする習慣があるが、これは改めたいもの。里沙門は五所川原の部落。聖心のない者。男好きは鶴が無玉、女好いは蓮華。好男子に金はなく、美女に貞操なし。男やもめに娘がわく。男が一人だ事しているの不精になりがち。

役場の電話は
2111番です

おしらせ

第9回 村民冬期スポーツ大会

市浦村体育協会主催の村民冬期スポーツ大会は、3月8日(日曜日)開催することに決定しました。この大会は、各地区班対抗によって行われ、バレーボール、バドミントン、卓球の3種目総合優勝を競うものです。

各地区選手の積極的な参加と活躍を期待しています。

■競技会場

- バレーボール 脇元小学校
- バドミントン 市浦中学校
- 卓球 十三小学校

■競技規則

- バレーボールについては、6人制で選手の年齢制限はしない。ただし、試合中女子2名を出場させていること。
- バドミントンについては、
 - ①男子フリー (30歳以下)
 - ②女子フリー (30歳以下)
 - ③混合ダブルス (男女フリー)
 - ④31歳以上
 - ⑤31歳以上 男女問わず
- 卓球についてもバドミントンと同様とする。
- 3種目すべてに参加しなければ、総合優勝は認めない。ただし種目別優勝は認める

ごみの収集は

11月から4月まで
毎週木曜日だけです。

税金の申告を 済ませましょう

税金のことでの相談は……

五所川原税務署では、昭和55年分の所得税の確定申告について、自主的に適正な申告をしていただくため、税務署からすではがきで通知を受けた人、またはこれから新たに確定申告しようとしている人たちを対象に納税相談会を次の日程で行います。

- とき 2月20日(金) 午前9時30分から
- ところ 役場会議室

住民税(村県民税) の申告について

昭和56年度分の住民税の申告の受付は次の日程で行います。

○申告に必要なもの

- ①印鑑
- ②医療費、社会保険等の支払明細書
- ③生命保険払込領収書
- ④その他申告に必要と思われる明細書または領収書

日時	地区	場所
2月16日 ～17日	十三地区	十三出張所
2月18日 ～19日	太田地区	太田生活改善センター
2月23日 ～25日	脇元・磯松地区	脇元出張所
2月26日 ～27日	相内・桂川地区	役場会議室

受付時間は午前9時から午後3時まで

※ なお、期間中都合により申告に来れない方は、3月16日までに、直接役場へ来て申告を済ませるようにして下さい。

失業保険の認定日

認定日	時間	認定の種類	認定場所
2月10日	午前	特例一時金	・役場会議室 相内・桂川 太田地区
2月17日		一般・特例	
2月24日	午前	特例	
3月3日	9:00	特例	・脇元出張所 脇元・磯松地区
3月10日		特例	
3月17日	午前	一般・特例	
3月24日	10:00	特例	・十三出張所 (十三地区)
3月31日		特例	
4月7日		特例	
4月14日		一般・特例	

県農業青年大学

受講生を募集しています

県では農業経営にたずさわりながら、積極的に学習しようとする農村青年を対象に、次の要領で受講生を募集しています。

1. 受講資格
18歳以上の農村青年で高卒または、高卒と同等の学力を有すると認められる人。
2. 募集人員 70人
3. 研修期間 2カ年
4. 募集期間 昭和55年12月15日から56年2月15日まで
5. 願書提出先 各地区農業改良普及所
研修は合宿研修とし、農業経営研修に重点をおき、体験実習、集合研修、部門別研修、農業機械研修等を実施する。
○修了者には修了証書を授与し、各種制度資金の借入れを優先的にあつせんします。
その他詳細については、農業改良普及所及び県農務課におたずねください。

若い人たちの積極的な参加を

三和広子(相内)



いろいろな行事やスポーツ大会が数多く開かれていますが、それらに参加する人たちがまだまだ少ないような気がします。

特に雪で家の中にこもりがちな冬は、積極的に外に出て運動することに心がけています。

スポーツでさわやかな汗をかき、仲間と語りあうことは、ストレスの解消にも効果があると思う。

青少年問題がクローズアップされている現在、私たち若い人たちが率先して各種行事、豊かさに参加し、精神的村づくりをしたいものです。

社教

シリーズ

生涯教育をわが家へ

派遣社教主事 片山 永 繁

①

教育委員会では、昨年も、乳幼児家庭教育学級を手始めに多種多様な行事を仕掛けてきました。仕掛けた品物に魅力がなかったのか、仕掛け方が悪かったのか、いまひと

つ盛り上がり欠けた感じがします。特に参加しない方は、「おらだじ関係ない！」、「それじゃ行かぬでめ覚え」や、「今さら勉強でもねがや...」、「今さら勉強でもねがや...」また、参加する方に対して「いいきなて、「チャカシ」などと無責任ことを言つて



田と子の会話

「人は人によつて人になる」とよく言われます。子供は、親はもちろんのこ

とよまわります。おとなに接しながら、毎日を送っています。こうした子供を取り巻くおとなの子供たちと与える影響は大きく、言葉遣いをはじめ、生活態度、もの考え



方、感じ方などいろいろなたちであられてきます。なかでも、とくに親の影響が強く、子供の性格、ふるまひは将来さへも方向づける場合が少なくありません。子供は、親が口でいうより先に、親の生活態度、生きる

共感の土壌をつくらう

姿勢を敏感に感じとり、自己を形成していくといわれます。たとえば、父が仕事に精進をばい生きないという姿を、また、母が誠実に日々の暮らしを営んでいる姿を自分のあり方に、子供は自らもそのようになりたいたいと思ひ、ここに親子一体的な感情、共感の成長の糧となつていくよう

気力も消えうせ、解決しないままに一日一日と過ぎてい

人間一生の間に、それぞ

たとは、子供は、自分が大事にされ、愛されているのを知ると「と愛された」と愛してその人の望みを受け、そして、そのよにありたいと親の気持ちに応えようと、一種の感動を伴つた心の変化が起こります。

こうして、子供は親との心の関係を深めながら、強く影響を受けていきます。大切なのは、共感の生まれる土壌づくりで、そのためには、子供の感受性が大きくものをいしています。家庭では、他人の気持ちを感じ入れる心のゆとり、素直に感動できる心の豊かさをつつちかようにしたいものと

窓の戸籍



お誕生

- 権引 裕介(脇元)一 弥
- 安田 奈央(三)三 源一
- 秋田谷美穂(桂川)幸 司
- 米谷 俊彦(相内)達 夫
- 木津谷真治(相内)一
- 三和 邦光(相内)忠 正
- 三和 宏光(相内)忠 正
- 湯浅 真也(三)健 二
- 奈良岡あや子(三)明 博

おくやみ

- 濱田權太郎 72歳(十三)
- 養 ミヤ 88歳(相内)
- 和嶋勳次郎 82歳(磯松)
- 村山 正三 91歳(相内)
- 宮崎 ユキ 49歳(十三)
- 秋田谷久美子2歳(桂川)
- 安保善次郎 80歳(相内)
- 葛西 キン 77歳(脇元)

元議会議長 安保善次郎氏死去



安保さんは、昭和四年五月相内村議会議員に初当選以来昭和二十六年四月まで五期務めたあと、推されて村長二期を歴任していました。また、合併後も村長職務執行者、村議会議長三期、村議会議長等を歴任し、昭和四十九年十月、長い間の自治功勞が認められ、勲五等雙光旭日章を受章しました。

かねてから病氣療養中でしたが、一月十八日午後九時十分心不全のため自宅で死去しました。八十歳。